コメント(小5)

これまでもこれからも CO₂がすこしでも少なくなるように ちきゅうがもっときれいにうつくしくなるように いろんなことに気を付けていこうと思いました。

世界中にSDGsを意識している人は 何人いるか知りたいと思いました。えん筆を短く最後まで使い切っています。

私のやっているエコは 1つのへやでみんなですごしている。1つのへやですごす理由は 電気をむだづかいしないからです。

歯みがきの時に コップを使って歯みがきをして 水の出る量をへらした。

しげんごみを分別してリサイクルにだす。エアコンの設定温度を調整する。きれなくなった服をいどこにあげる。

ソーラーパネルでCO₂をへらすのか 木をたくさん植えてCO₂をへらすか どちらのほうがCO₂をたくさんへらすことができるのかきになりました。

エコライフデーに参加して 環境について改めて考え直すことができました。これからは 環境について目標を立てながらすごしたいです。

いま地球温だんかはどのくらいのわりあいですすんでいるのか。地球はこのままだとあと何年の間になくなってしまうのか。

シャワーの出しっぱなしを いつもより家ぞくが気をつけていたので これからも声をかけて続けて行きたいです。

一日の中であまり気にしていないことでも 地球温おんだん化につながるということがわかりました。これからもCO₂をなるべくへらしていきたいです。

おふろは家族が帰ってきたら入れてじゅんばんに入るようにしている。エアコンの温度も下げすぎないでくふうして使うようにしたい。

いろいろエコできていないとわかった。おふろをさめないうちに みんなではいりつづけるだけで CO₂の量がへらせるということがわかりました。

いがいと自分はシャワーをだしていたので そういうのをこれからはなくそうと思いました。

エコライフデーをやってへらせれるCO₂の量をしる事ができてよかったです。環境について知れる事ができてよかったです。

植物をカーテンにするだけで省エネこうかがでるとして 学校のツルレイシのつるはこんな意味があると分かりました。

牛乳パックをまな板にいつもつかっています。CO₂はどこで何g出ているのか知りたい。意外にも いつもやっていることがCO₂をへらしていることにおどろきました。

ふだん以外と CO₂を出してしまっていることに気づいた。ちよつとしたことでCO₂をさくげんできるなら エコライフデーが毎日つづくようになりたい。

子どもでもできることはあるんだなと感じました。環境にやさしい取り組みをしていきたいです。

「地球温暖化なんて自分にはかんげいないでしょ」と思っていました。どんなものかを知って「自分がやらなきゃいけない」ということが分かりました。

生ごみをたいひにして野菜を育てている。

コメント(小5)

私は暑いのが苦手だし マンションに住んでいるので グリーンカーテンのほかに何か良い方法はないかと考えています。

ちょっとしたことなのに一人一人が気にしないことでCO₂がふえて地球温暖化で温度が上がっていくということも分かりました。私も意識して生活していきたいです。

おでかけの時に電気を消してあるか確認しました。ペットボトルのキャップをあつめたり 牛乳パックをあつめてリサイクルしています。

地球温暖化のことはニュースでよく聞きます。だから僕は僕なりにやれることをしたいと思いました。だから積極的に声もかけようと思いました。

料理で使ったフライパンなどに付いているあぶらは キッチンペーパーでふいてから洗っています。

食べ物を残さないようにする。シャワーをながしたまま体をあらわないようにする。

テレビをけさずに家をでしてしまうときがあるから 気を付けようと思いました。

だれもが「みんながやっているから大丈夫」 そう思っていたらなにも始まらない！ということが分かりました。

電気や水も 出しっぱなしにしたり 付けっぱなしにしていたら CO₂がたくさん出てきてしまうので 気を付けて生活していくことがかんきょうにもいいと思いました。

エコライフデーをやって感じたことは いろいろな物の大切さに気付くことが出来ました。私がやっているエコは エコバックを使っています。

地球を守るためにできることを毎日できるように いしきしながら生活してみようと思いました。

地球温暖化は ほんの少し工夫することで 少しかえらるんだなと思いました。

エコライフデーに参加して 一人が1日でけっこうCO₂を出していることがわかりました。チェック項目の中で半分しか出来なかったから もっとがんばりたいと思いました。

エコライフデーがはじまってからは 使わない部屋の電気は消しました。このことをつづけていきたいと思います。

あたり前だけど そのあたり前が出来ないと 環境が悪くなると知った。